

事業実績報告書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 こころのケアの会

1 事業名	グリーフケアを知っていますか？
2 事業の内容（実施日、場所、回数、内容、参加者数などを含めて具体的に記入してください。）	宝塚市制 70 周年記念事業 こころのケアの会 第 3 回「グリーフケアを知っていますか？」 10 月 15 日（火） 1部 15：00～17：00 於 平林寺会館 1 講演会 和歌山で「ケアプランセンター幹はうす」のケアマネジャーであり認知症カフェ「にじいろカフェ」の実行委員を務める 北田千恵さんのお話を聴きました。「わたしの大事にしていること、聴くこと」と題して、利用者さんとのエピソードや、聴き方によっては自分のやりたいこと、自分でできることがわかることがあるという話を聴きました。できることがあっても、周りの人が気づかなければ何もできない人になってしまう。聴くことの大切さがよくわかりました。 2 落語 桂雪鹿さんによる落語を聞きました。やかんの嘶でした。落語の後、バイオリン漫談もありました。笑い声が絶えませんでした。 3 弾き語り Salia さんの歌声は、時にパワフルに時にはしっとりと心にしみる歌ばかりでした。「あじさい」という歌に「泣いてもいいんだよ」という歌詞があるのですが、このイベントにピッタリの曲だと思いました。 2部 17：00～19：00 於 成福院駐車場 毎年 10 月 9 日～15 日は、Baby Loss Awareness Week（BLAW）で、亡くなった赤ちゃんのご家族に想いを寄せる 1 週間です。BLAW の国際啓発シンボルの「ピンクアンドブルーリボン」の形に、メッセージの書かれた白い紙袋にピンクとブルーの LED ライトを入れリボンの形に並べます。宝塚市養護学校の皆さんにもかわいいイラストやメッセージを書いていただきました。Salia さんがアンコール曲をライティングの周りを歌いながら回ってくださってとても素敵な時間になりました。そしてこのライティングの画像を、19 時に Wabe Of Light に参加して、Instagram に投稿します。ライティングの様子をハッシュタグをつけて SNS で発信し、赤ちゃんを想う優しく愛おしい気持ちと「ひとりではない」という心強さを世界中に共有しました。

3 市制 70 周年をお祝いした内容

市制 70 周年記念をお祝いするコメントを司会者より始めのあいさつにと、代表者挨拶に「宝塚市制 70 周年おめでとうございます。この記念事業に参加することができて感謝いたしております。」と述べさせていただきました。

4 事業の効果・成果

連休明けの平日でしたので、参加者が少なかった。23 人でした。
初めての方もおられて、「グリーフケア」という言葉や意味、大切さを知っていただけました。
チラシ、パンフレットを配布できたことも、「グリーフケア」「寺カフェ」の周知につながったと思います。
エフエム宝塚の市長さんの番組にもよんで頂けて、お話をさせていただけたこともありがたかったです。
ひとりでも、二人でも、必要な人に届いたならそれで成果はあったと思っています。

5 実施した安全対策

非常口の確保。
火の始末。
冷房して適当な室温にする。
お茶等飲み物で水分補給する。
自動車の安全確認。
日没後、適当な照明で足元の安全。
会場移動の時には、スタッフが引率する。